



平成19年3月

Vol. 8

発行／名田島連合自治会  
 編集／自治会総務部会  
 印刷／株式会社山口県農協印刷

### 目次 (主なもの)

- 1頁……役員先の進地視察
- 2頁} …… (民生部会、土木部会のこの1年)
- 3頁} …… (教育部会、総務部会のこの1年)
- 4頁……自治会の課題と展望

## 農地・水・環境保全の向上対策 実験地区を視察しました



岩国市下祖生地区の集会所前で

**良好な農村環境  
 農業資源を守ろう**

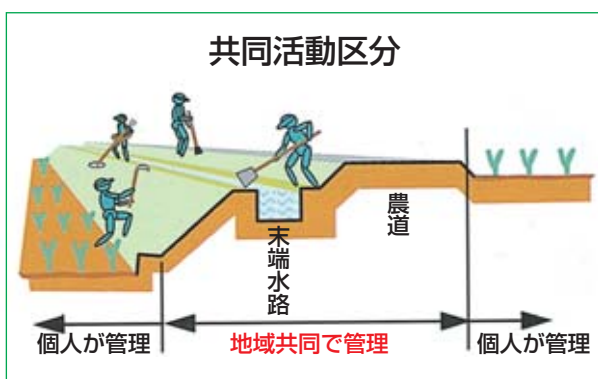
三月六日、今年四月からはじまる「農地・水・環境保全向上対策」事業を現地視察しました。

視察参加者は、自治会役員のほか、土地改良区理事、朝市の世話人など二十七名。

視察先は、岩国市周東町下祖生(しもそう)地区。

県岩国農林事務所からの説明も受け、今後の環境保全対策に実りある研修でした。

個人と共同の活動区分は、左図のとおり。





# 自治会4部会の一の一年



錦帯橋での記念撮影

## 民生部会

### 環境美化や地産地消

山下 武彦

今年度の活動の重点目標は、「環境問題」と「地産地消」です。

まず、「環境問題」については、昨年度に引き続き「不法投棄禁止」の看板を国道二号バイパス南側市道と県道山口秋穂線向山の二カ所に設置しました。また、バイパス下

の市道の堆積土の撤去も土木部会や協力委員OB会、有志の方々の協力を得て行いました。

次に、「地産地消」については、三月六日に「ふれあい交流館西岩国」を訪問し、無人駅「西岩国駅」の駅舎を利用して、朝市、特産品の展示即売、地域情報の紹介など西岩国のまちづくりと観光拠点づくりをされている特定非営利法人「西岩国・駅と広域まちづくりの会」を視察研修しました。

これまでの研修は講義を聞くことが主体でしたが、今回は情報交換を主体とした「意見交換会」の形式で行いました。

自治会が地域おこしにどのように関わってきたかを聞き、熱心なリーダーのもと、住民意識の高まりを感じました。また、昼食を岩国ユースホステル内にある「じゃ」で、地元食材（レンコン）を生かした料理（右下の写真）を味



西岩国での特産品即売風景

わい、食事をしながら、郷土（岩国）の歴史や調理の仕方などの話を聞きました。

この一年を振り返って、民生部会としての活動は、その範囲が多岐にわたり、住民の皆さんが日常生活に直面されている種々の問題に対処していくことが理想ですが、その解決には難題が多く、目に見えた成果を挙げる事ができなかつたことを残念に思っております。

今後とも自治会活動を通して、「環境問題」や名田島に馴染む「地産地消」等に取り組み、将来展望を見据えた住みよい名田島を目指していきたいものです。

## 土木部会

### 不法投棄防止や要望書

有 富 茂 夫

この一年の土木部会を振り返ってみると、昨年と同様、各地区（集落）の要望事項のとりまとめから始まって、道路の除草、バイパス下のゴミ掃除及び土砂の取り除き、不法投棄禁止の看板設置等が主な活動内容でした。

反省として、各地区（集落）の要望事項が多く、市も県も速やかな着工等とはならず、全部の工事を終えるのには、まだ数年はかかると思われること。また、不法投棄禁止の



向山での市道拡張工事

看板設置箇所が足りないことです。特に、バイパス下のトンネル（函きよ）内にゴミ袋が散乱しているのには、看板設置者として、大変、心が痛みます。

要望事項にはなかつたのですが、先日、名田島の護岸の亀裂状態をチェックしたところ、小さい亀裂がありました。その中で百間橋から新開作沖までの間に十カ所くらいある。特に中三橋から前田橋までがひどいことがわかりました。

今後、温暖化が進み、大型台風も多く発生すると思われる。この状態だと堤防が決壊してもおかしくありません。早急に次期土木部会に修理を要望したい。



バイパス下の堆積土の撤去



教育部会

### 見守り活動や校舎改築

内田 武義

子どもたちの安心・安全を見守ろうと「名田島みまもり隊」が発足して一年経過しました。

これまで、事件もなく経過しましたのは、ボランティア隊員をはじめ、関係各位の皆様方のご協力のたまものでもあります。

昨年は、七月に隊員会議を開催して、小郡警察署から南部の犯罪情勢等を聞きまし



防災ブルゾン交付式

が発生しているとのこと、当名田島地区は幸いにも事件はありませんでした。しかし、治安が良好な時ほど防犯活動（意識）の継続が重要である等の指導を受けました。また隊員同士の情報交換会も行いました。

今年の二月には、山口県共同募金会から補助金を頂き作製した防犯ブルゾンを各隊員に自覚と意識づけのため配付しました。そして一年目の節目にそのお披露目を兼ねて、一斉下校時の見守りを全員で行いました。

### 耐震校舎対策で プレハブ仮設校舎に

次に、「名田島小学校校舎の建て替え」につきましては、現在、プレハブ仮設校舎が、四月の新学期に間に合うように急ピッチで進められております。建設場所は小学校グラウンドの西側です。

南校舎は、昭和二十八年に建築されており、これまで自治会連合会から、毎年、老朽校舎改築の要望活動を行って参りましたが、昨年は耐震診断の結果、基準数値を大きく



小学校プレハブ仮設校舎の基礎工事

下回る危険校舎であることが判りました。

このため、児童の安全性確保を第一に考えられ、当面仮設校舎が建てられることになりました。

しかし、今後の計画が未定であることから、この問題は地区全体で検討すべき事案として、各種団体と自治会連合会との合同会議を開催しました。協議の結果、山口市長に対し自治会、教育振興会、三葉会連名で、十一月十六日に要望書を提出いたしました。

今後は、「山口市立学校適正規模検討委員会」の結論や教育委員会の動向を見守りながら対応することとなっております。

総務部会

### 防災や会報・視察研修

伊藤 米秋

総務部会では、自主防災会組織の立ち上げ、自治会会報「田園」第7号・第8号の編集・発行、自治会役員の視察研修会の企画・実施（岩国市・周東町下祖生地区での農地・水・環境保全向上対策）、総会や役員会の議事録等作成の手助けなどを行いました。

活動の反省として、自主防災会については、防災委員組織は機能し、防災訓練の主導組織となったが、十三集落の防災組織（集落防災組織）



下祖生地区集会所で意見交換



自主防災会結成の日の防災講習会

と地区全体の防災組織（地区防災会）との関わり方や平時の防災組織と災害時の防災組織など自主防災会組織の全体像が住民の皆さんに理解されていないこと。次年度の防災会総会で、再度、周知されるよう引き継ぎます。また、役員の見学研修については、時期が遅くなったこと。その他、総務部会として、他の部会との連携が不十分であったため、本来、総務部会が行うことが望ましい事案を大林会長に専ら委ねたことです。

次年度以降、総務部会の担うべき役割分担を含め、自治会組織全体について、見直しをすれば、お互いに活動しやすくなると思われれます。

# 自治会の課題と展望 自助努力や互助、懇話会

## 環境問題の学習

大林 基宏

ここ十数年前に松茸のシロの在処を探すために山野を駆け巡り、三、四力所見届けることができ、その後、松茸の季節を迎えると、松茸のシロを目指して年に三、四回程度は足を運んでいました。

ところが、近年は異常気象で台風が大型となり、登山道は倒木が多く、歩行困難に至



山口市長あての要望書を吉田助役に提出

り、松茸登山は中止しておりますが、火の山頂上付近の松茸のシロは我が家から至近距離である関係で毎年一度は登ることになっています。山頂からは、山口湾や新山口駅界隈が一望できます。

天候は自然界の現象であり、人間が自由に操れず、景色は千差万別であります。

人々の暮らしの要望事項もいろいろあります。生活に密着した要望事項を行政機関に提出しておりますが、近年中に解決できる事案もあれば、早急に解決できない案件も見受けられ、自助努力が最も重要視されると考えております。環境省では、頻発する異常気象は地球温暖化が原因であり、二酸化炭素の排出量の削減を強く求めています。

私たちを取り巻く環境変化に対する対処方針を確立するために、環境問題の勉強が必要ではないかと痛切に考えております。



一斉下校時の見守り活動

## 今こそ名田島地区の地域力

三輪 正明

名田島地区で今後予想される問題として、第一に人口減少の問題であります。第二に高齢化に伴う健康福祉の問題。

四月からは南総合センターは民営化となり、保健センターもなくなり、第三に名田島地区の産業であります農業問題。第四に名田島地区の社会資本（道路、水路、下水、教育文化施設など）を充実させることでもあります。

これらの課題に対処していくには、時間もかかりますが、各関係団体と連携しあい、地

域を考える名田島懇話会の結成や名田島地区土地利用計画の立案等に本格的に取り組むことが必要かと思えます。

## 互助の精神を

浅原 利夫

私たちの身の回りには、沢山の不安が渦巻いています。

健康、老後、介護、経済、環境、子育て、災害、担い手等々、一人での人間や一族ではどうにも解決できない課題が沢山あります。

最近、「限界集落」という言葉を耳にします。二十戸以下の集落で、しかも六十五歳以上の高齢化率が五〇%以上で、もうこれ以上集落の維持が困難と思われる集落のことのようです。

自治会は、地域の人々が日常生活における様々な共通課題をお互いに助け合いながら解決し、豊かで住みよい地域を築いていくために活動する組織です。

少しでも身の回りにある不安を互助の精神で解決し、間違っても「限界集落」には、なりたくないものです。

## 編集後記

岩国市周東町の下祖生地区での農地・水・環境保全事業は、地域ぐるみで、なされておられ、作業日誌など、とてもわかり易く驚きました。

名田島自治会のこれからの取り組みは、少子高齢化など課題は山積みです。もっと地域ぐるみで、真剣な取り組みを願っています。(マツ・君) 今年の冬はエルニーニョ現象のおかげで暖冬が続ぎ、例年になくゴルフ日和りに恵まれました。反面、夏期の水不足が心配されます。

自治会が発足して四年間、基礎づくりでしたが、このたび、役員改選3期目。今後、実りある自治会になることを期待します。(タ・充)

三月十六日、岡山県の西大寺市に水稻の直播(じかまき)栽培の視察にいきました。翌日は、呉市の大和ミュージアムを見学しました。

主催は名田島水田利用合理化推進協議会。緑の名田島を担う役員共々に親睦を深め、今後の水田利用について、研鑽し合いました。(カワ・昌)